

# 9月定例会災害関連以外の審議

消防機能の更新や、病院事業会計決算を審議

平成30年第5回高梁市議会（定例）は、9月18日に召集され、議案21件を審議し、いずれの議案も全会一致で認定・可決しました。

## 総務文教委員会

●『高梁市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の特例に関する条例』は、地域未来投資促進法に基づき県と市が共同で作成した計画により、ものづくりや物流など10の分野に企業が一定の施設を設置した場合に固定資産税の特例を定めるもので、市が独自に特例の上積みを行い企業誘致したかどうかとの意見がありました。

これに対し減収分の75%

●『平成30年度高梁市一般会計補正予算（第3号）』で51億5481万4000円を追加するが、この補正で財政調整基金はどうなるのかとの質問がありました。

これに対し補正後の基金残高は約11億8680万円の見込みとなると答弁がありました。

りました。

## 市民生活委員会

●『平成29年度高梁市国民健康保険成羽病院事業会計決算認定』

平成29年度も未処理欠損金が増えている。経営上どのように捉えているのかという質問に対しては、病院新築や機械器具の更新により多額の減価償却費が発生している。また、医師住宅建設に内部留保資金を使っている。運転資金が枯渇して危機的ではないが、今後

も損失の解消、黒字化に向けて努力していきたいとの答弁がありました。

療養病床の回転率の低さや、介護医療院への転換に

ついて、自宅に帰ることが

できる方はなるべく自宅で過ごしていただくという方針で、療養病床の利用率が下がる面はある。介護医療院は特別養護老人ホームと同様「ついのすみか」という位置づけで、地域にとってそれが良いのかどうか、また、介護報酬が今後どうなっていくのかということも見通しながら考えていく必要があるとの答弁がありました。

●『工事請負変更契約の締結について』

高梁市養護老人ホーム・成羽認定こども園建設工事の金額が増額されているが、当初の見積もりをする時点で十分な設計をしておくべきではなかったのかとの質問がありました。これに



成羽長寿園・成羽こども園（仮称）（10月26日撮影）

# 8月臨時会が開催されました

避難所開設や崩土の撤去など、災害関連予算約8億円などを審議

平成30年第4回高梁市議会（臨時）は、8月9日に召集され、一般会計補正予算など議案8件を審議し、いずれの議案も全会一致で承認・可決しました。

## 市長提出議案の内容

●『専決処分の承認を求めることについて』のうち、『平成30年度一般会計補正予算（第1号）』は、災害応急対応予算として7億9600万円を追加するもので、避難所開設や崩土撤去の費用、災害見舞金や土砂除去扶助費、災害ごみ処理費、市道の応急復旧経費、斎場復旧事業費などを7月26日に専決処分したものです。また、『高梁市職員の給与に関

する条例の一部を改正する

条例』については、他の自治体から災害支援の職員を受け入れるときの災害派遣手当の規定を専決処分したものです。

●『工事請負変更契約の締結について』は、豪雨の影響で成羽認定こども園・高梁市養護老人ホームの建設の工期を8月31日から10月31日にまで延長するものです。

●『平成30年度一般会計補正予算（第2号）』は、災害復旧経費として15億1246万6000円を追加するもので、災害見舞金、土砂撤去の拡充、企業への支援としての災害見舞金や再建補助金、利子補給制度の創設、大規模な災害復旧事業の測量設計費、小規模災害復旧費などを計上したものです。



## 議案質疑

議員 被災された市民や企業などにきめ細かい対応と最大限の支援を求める。

執行部 市営住宅へ入居された方や避難所におられる方、罹災証明を発行した方々は全て把握しているので対応する。ただ災害の全容がつかめていない部分もあるので、しっかりと把握していく。中小企業や個人事業主には、国の制度と合わせて市独自の制度を創設する。

議員 災害見舞金の拡充や土砂撤去後の復旧補助は考えていないか。

執行部 他市は災害見舞金をかさ上げる流れがあるので考えて行く。土砂撤去

後の復旧については部門間で協議が必要なので研究したい。

議員 消防団の方の車が活動中に水没したと聞いていますがその後の対応は。

執行部 保証組合から保証金と運営費で対応したい。

議員 農林災害を国へ申請する期限について弾力的な運用はできないか。

執行部 公共災害で期間を延ばしたことはある。豪雨により災害を受けたものは出来るだけ対応したい。